

2012 年度青島日本人会 総会 議 案 書

2012 年 4 月 14 日(土)
16 時 30 分～17 時 30 分
於:青島麗晶大酒店

第 1 号議案 2011 年度事業活動報告

- (1)全 般
- (2)商 工 会
 - :食品部会
 - :繊維部会
 - :機械・電機・化学部会
 - :流通・サービス部会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校支援委員会

第 2 号議案 2011 年度会計報告

第 3 号議案 2011 年度会計監査報告

第 4 号議案 青島日本人会規約改正

第 5 号議案 2012 年度理事及び監事選任

第 6 号議案 2012 年度事業活動計画

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校支援委員会

第 7 号議案 2012 年度収支予算案

以上

第1号議案

(1) 2011年度 事業活動報告（全般）

青島日本人会会長
兼重清史

1) はじめに

会員の皆様、いつも日本人会の活動・運営に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。また本日はご多忙のところ、本総会にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。

皆様におかれましては、厳しい日本・世界経済の環境下、多くの経営課題に直面されておられるのみならず、本社から成長著しいこの中国での実績を求められ、もとより制度・習慣・言葉・文化の異なる当地での仕事や生活は、さぞかしご苦勞の多いことと思います。

ここ青島は昨年6月末、青島海上大橋と海底トンネルが開通しましたが、現在は市内中心部において地下鉄工事がどんどん進んでいるなど、急速にインフラ整備を行い、数年前に比べると街中は一変しているような状況です。ただその一方で、なかなか労働者が集まりにくくなっているうえ、給与の大幅な引き上げを余儀なくされたり、原材料など諸物価の高騰が拍車をかけ、企業経営に関する環境は日に日に厳しさを増しています。

このような厳しい環境下、青島日本人会がなすべきことは、会員の皆様方との絆をより強め、互いに助け合いの心を広げ、異国の地においてさらに大きな力を発揮できるような地域コミュニティを育てていくことであると考えています。

2) 青島日本人会の活動

2011年度は東日本大震災の後を受け、「青島の地から日本の復興を願う」を合い言葉として、昨年6月に青島日本人会の運動会においてチャリティバザー等を実施いたしました。また東日本大震災のちょうど1年目にあたる先月11日に青島ジャパンディを開催し、多くのご寄付や励ましをいただいた中国の皆様へ感謝の気持ちを込め、復興の様子をパネル展示しご覧いただいたり、日本の伝統文化の紹介や安全・安心な日本食のPRを行いました。参加者が1千人を超えたのではないかとというぐらいの盛大なものとなりました。

また2004年に開校しました青島日本人学校も生徒数は100名を超え、すばらしい校舎ですばらしい先生方の指導を受け、日本の将来に明るい期待を持てるような元気いっぱいの子供達が、伸び伸びと学校生活を過ごしています。

商工会、各部会活動、生活文化会、各種同好会、そして青島日本人学校支援活動におきましては、大変多くの会員の皆様にご参加とご協力をいただきました。各活動の詳細につきましては、この後担当理事の方からご報告をさせていただきますが、これらの活動を通じまして、日本人会としての一体感がさらに深まったものと感じています。

各部会の活動以外にも、各種行事の企画・運営に際しましては、会員の皆様はもとより、在青島日本国総領事館、JETRO、市政府機関の皆様から多大なるご協力をいただきましたことをご報告申し上げますとともに、重ねて御礼申し上げます。

(2) 2011 年度 商工会 活動報告

商工会会長 渡部 英司
副会長 手代木和人、藤武秀三、北条尚子

1. 活動実績

- ・ 第 1 回(7/29)「財務会計、税務法規」(Deloitte Thomas)
- ・ 第 2 回(12/2)「企業所得税年度申告、中国取引先信用評価、M&A」(Brighture)

2. 2011 年度活動報告

昨年 2011 年は、3 月 11 日の東日本大震災、タイの洪水、欧州金融危機とかつて経験したことのない激震が走ったことから、危機管理に焦点をあてたセミナーを 7 月は Deloitte Thomas、12 月は Brighter の 2 つの会計事務所のご協力を得て実施しました。いずれも 100 名前後ご出席いただき実のあるセミナーとなりました。

一方、内販・内需を中国事業のキーワードとして、信用取引や、移転価格税制等による課税強化の動きに対応するため、これら 2 つをセミナーテーマに加えました。
また、外国人の社会保険への加入が律法化していった年でもありました。全国で地域ごとに政府の対応や法律の解釈が異なっていたため、沢山の質問や問い合わせがありました。
商工会は、経過説明を行うと共に、ほぼ明らかになったタイミングを捉え、12 月に青島市保険局の考え方と申告プロセスについて会員全社に案内をさせて頂きました。
会員各社におかれてはスムーズな対応につながったのであれば幸甚です。

* 食品部会

部会長 手代木和人
副部会長 石田正夫、蔭島末彦、山口和里

活動内容

- ・ 第 1 回：6 月 18 日 場所：麗晶大酒店 人数：約 65 名
議題：日本食品の輸入停止状況
講演「日本食品の輸入停止に係る政府間交渉進展見通し」
(講師) 在中国日本大使館 経済部 参事官 佐竹健次様
- ・ 第 2 回：9 月 23 日 場所：クラウンプラザホテル 人数：約 65 名
議題：①食品安全
講演「ポジティブリスト制導入 5 年目を迎えて」
講師 キューサイ分析研究所所長 横下正彦様
②日本食品の輸入停止状況
講演「日本からの食品輸入現状報告」
講師 青島イオン 商品本部長 丹森様
- ・ 第 3 回：12 月 16 日 場所：麗晶大酒店 人数：約 60 名
議題：①中国経済の景況感 (次年度予算作成時のマクロ感)

- 講演「最近の中国金融経済事情」
講師 日本銀行北京代表処 副首席代表 和田健治様
- ②日本からの食品の輸入停止状況
講演「日本食品の輸入停止に係る政府間交渉進展見通し」
講師 日本国駐青島総領事館 首席領事 下地富雄様
- ③外国人の社会保険加入
講演「外国人の社会保険加入規定動向」
講師 JETRO 青島事務所 所長 北条尚子様
- ④その他
講演「川崎港のご案内」
講師 アイ・ロジスティックス 総経理 原田茂樹様

・ 第4回：JETRO 青島事務所共催

- 3月16日 場所：クラウンプラザホテル 人数：約65名
議題：①日本からの食品の輸入停止状況
講演「中国の食品工業・食品安全を巡る最近の動向」
講師 在中国日本国大使館 経済部 参事官 青戸直哉様
- ②その他
講演「今後の内地販売にあたっての営業ツールご紹介」
講師 FOODS Info Mart
講演「企業を守る情報セキュリティ対策」
講師 青島富博系統工程有限公司(FBSE)

活動報告

昨年3月11日の大震災の影響で、「餃子」「粉ミルク」事件に代表される中国産品に対する安全安心の不安は、風向きを大きく変え、日本食品の中国への輸入が停止されるという状況に至りました。

その後風評被害も加わり、日本産品への不安が広がる中、会員各社は、日本国内で製造出来ない商品への緊急対応や、日本からの輸入原料の入手が困難な中、レシピ変更を余儀なくされる等、多くの問題に直面しました。

斯様な状況下において、当部会では、日本食品の輸入停止に係る現状認識を継続テーマとして追いかけると同時に、青島日本総領事館、ジェトロ青島のご協力を仰ぎながら、開催回数を一昨年の3回から4回に増やし、マクロ・ミクロ両面から有用な情報提供を行って参りました。

懇親会を通じた会員相互の理解も深まり、結果として、参加人数は一昨年を15%程度上回りました。会員各社の皆様に少しでもお役に立てたのではないかと考えております。

2012年度活動方針

先日のジャパンデーの成功に見るように、大震災から一年が経過し、活力が回復してきた日本の姿に対し、地元山東省・青島の皆様も力強く感じているものと思います。

しかしながら、漸く、日本産品の輸入が再開となったものの、引続き規制があり、且つ、中国内、更には山東省内でも、港ごとに輸入対応が異なるなどの問題が残っております。

引続き、青島日本総領事館、ジェトロ青島と連携し、中国政府への働きかけを行っていきたくと考えております。

また、本年は中日国交正常化40周年という節目の年でもあり、ジェトロ青島と共催で、日本産品及び当地日本企業が製造する商品の普及・宣伝イベント「日本食品節」(仮称)を、青島、済南の二か所で開催する予定です。

以上

* 繊維部会

部会長 田島 讓
副部会長 笹原 勉、鈴木 啓之

部会開催実績

第1回 6月 24日

会議場所：クラウンプラザホテル

懇親会場所：青島ビール街（ビヤガーデン風：工場直送の出来たて5種類生ビール）

第2回 10月 22日

会議場所：東麗即発染織会社の見学と即墨市新開発地区視察

懇親会場所：旧市街の日本料理店（本格懐石料理）

第3回 12月 10日

会議・懇親会場所：青島市内の日本料理店（海鮮料理）

第4回 3月 30日

会議場所：クラウンプラザホテル

懇親会場所：青島市内の日本料理店（飲み放題：特別割引料金）

上記の通り4回の部会を実施した。又、情報交換を更に深めるため、部会開催後に希望者で懇親会を毎回実施した。（参加率70%～80%） 本年は懇談会場所に一工夫をしました。

活動内容

2012年3月末の会員会社数は130社で昨年対比10社増加しました。又、業態及び規模、歴史が多岐にわたり、活動内容のご要望も多様化しています。

このような背景であります。本年度は毎回の部会内容に趣向をこらし、出席していただければ有益と思っただけの方を増やし、参加人数を増やす事を目標にして幹事一同、工夫をした所存あります。

主な活動は下記の通りです。

<従来<の活動>

- ・青島領事館から（総領事 又は主席領事より）管内情勢、安全情報の提供
- ・JETRO から（所長より）中国国内の経済・制度などの最新の情報提供
- ・部会幹事からの情報提供

情報テーマは繊維関係＋中国全般の情報

好評テーマ事例：中国の白酒・ビール ⇒希望者は日本人会事務局へ依頼してください。

<新規<の活動>

- ・東麗即発染織会社の見学と即墨市の東海岸地区での開発状況視察
(国際展示場、ゴルフ場、巨大ホテル)
- ・事業内容別に情報交換会（昼食しながら・・・）
- ・T社教育資料の配布による日本人学校への寄付活動（4500円）

2012年度の活動（抱負、方針）

- ・参加人数増の優先方針は継続し部会メンバーの相互交流をさらに深めたいと考えています。
- ・部会幹事が変わりますので新たな視点を取り入れながら、会員の直接的な御意見をお聞きし具体的な活動を企画し実行していきます。

*機械・電機・化学部会

部会長 北野重時
副部会長 田中博之 武仲康剛

2011年度は、以下の通りセミナー5回、工場見学会3回を開催しました。

第1回：前半セミナー、後半出席会員との情報交換会

- 1) 日 時：2011年5月24日(火) 15:00 ~ 17:00
- 2) 場 所：青島麗晶大酒店 3階1号庁
- 3) 内容：「一時帰休、リストラ、スト対策について」
講師 北条尚子【ジェットロ青島事務所所長】

第2回：工場見学会

- 1) 日 時：2011年6月24日(金) 14:30 ~ 16:30
- 2) 場 所：青島秀愛食品有限公司様 青島市城陽区玉皇嶺工業園

第3回：セミナー

- 1) 日 時：2011年7月15日(金) 14:30 ~ 17:30
- 2) 場 所：クラウンプラザホテル 3階
- 3) 内容：第一部「ケーススタディを交えた労働仲裁審理の実務」
講師 劉海英【青島市労働仲裁委員会仲裁員】
第二部「実務に特化した企業の安全管理と内部統制」
講師 熊 琳【大地法律事務所主任弁護士】
講師 章啓龍【大地法律事務所中国弁護士】
- 4) 懇親会：日本料理「月山」

第4回：工場見学会

- 1) 日 時：2011年8月24日(水) 15:00 ~ 17:00
- 2) 場 所：獅王日用化工(青島)有限公司様 青島市黄島経済技術開発区太行山路336号
- 3) 懇親会：日本料理「玄海」

第5回：セミナー

- 1) 日 時：2011年9月22日(木) 15:00 ~ 17:30
- 2) 場 所：クラウンプラザホテル 3階
- 3) 内容：第一部「PLの基礎知識と実務～PLの予防対策からPL保険まで」
講師 出崎 克【㈱キャプテン社長】
講師 大八木貴子【金誠国際保険經紀(有)日本事業部総経理】
第二部「実例からみる中国人幹部活用のポイント」
講師 王 穩【開澤法律事務所弁護士】
- 4) 懇親会：日本料理「月山」

第6回：セミナー

- 1) 日 時：2011年10月24日(月) 15:00 ~ 17:45
- 2) 場 所：クラウンプラザホテル 3階
- 3) 内容：「外国人の社会保険加入問題について～制度、法規、納付」
講師 熊 琳【大地法律事務所主任弁護士】
講師 章啓龍【大地法律事務所中国弁護士】
- 4) 懇親会：日本料理「月山」

第7回：工場見学会

- 1) 日 時：2011年11月24日（月）14：30 ～ 16：30
- 2) 場 所：東麗即発青島染織股份有限公司様 住所：即墨市即発龍山工業園

第8回：セミナー

- 1) 日 時：2012年3月20日（火）15：00 ～ 17：30
- 2) 場 所：クラウンプラザホテル 3階
- 3) 内容：「総経理のための税務会計セミナー」
講師 高谷将徳【PwC中国 青島/北京事務所シニアマネージャー】
- 4) 懇親会：日本料理「月山」

工場見学会を快く引受け熱心に説明して頂きました各企業様並びに無償にて講演して頂きました各講師様には心より御礼申し上げます。

2012年度も年間8回程度セミナーや工場見学会、会員との各種情報交換会等を開催していく所存です。引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

*流通サービス部会

部会長 江口規和
副部会長 加藤仁志、上村 等、高橋伸彦

総括

流通サービス部会は、所属会員企業の業態が多岐に亘り、登録会員数では商工会中最大部会となっています。運輸物流、倉庫、小売り、各種サービス（医療、食事、ソフト、人材派遣など）のように業態が多岐に亘るため、テーマを絞ることが難しいものの、2011年度は試行錯誤の上3回開催することが出来ました。

毎回テーマを変え、工場見学、流通・サービス業についての意見交換などの自由討論、懇親という形での開催、講演、また企業紹介という形での開催を行いました。工場見学においては、普段見ることの出来ないケータリング工場の見学ということで、多くの会員企業に参加頂きました。自由討論では、普段なかなか話の出来ない自社の悩みも含めた意見が出て、それに対し他の企業からの自社の例としての興味深いアドバイスがあったりと和やかな雰囲気の中、会は進みました。講演については、「安全、安心の取り組み」という観点から行って頂き、また山東省の消費市場、発展計画の概要についての講演を頂きました。会社紹介では、自社の紹介とは別にカード付保険講座も行って頂き、会員も大変勉強になりました。

30名前後のご参加のもと、盛況な活動ができ、会員企業の相互交流や意見交換、更には会員企業の青島における企業活動の一助となったのでは、と思っております。

活動内容

- ・第1回 6月16日（木） 場所：青島東方航空食品有限公司
懇親会；青島東方航空食品スカイレストラン
 - ① 工場見学及び会社概要についてのご説明
 - ② 懇親会での情報交換など
- ・第2回 11月17日（木） 場所：クラウンプラザ4F 竹若 懇親会：同左
 - ① 流通・サービス業に関する自由討論
 - ② 懇親会での情報交換、お悩み相談

- ・第3回 3月10日(土) 場所：麗晶大酒店会議室 懇親会：月山
- ① 講演； 青島永旺東泰商業有限公司 総経理 折口史明様
テーマ ” イオンの安全、安心の取り組み “
 - ② 講演； JETRO 青島事務所 所長 北条尚子様
テーマ “山東省商業、貿易、流通発展『十二五』計画”
“データで見る山東省の消費市場”
 - ③ 企業紹介他
 - (1) 日本興亜損害保険株式会社 小山所長
 - (2) 上海郵申国際貨運有限公司 竹本総経理
 - (3) 青島家尚宝商貿有限公司 市ノ瀬総経理

次年度について

2012年度も引き続き、試行錯誤の中、会員に有益な情報提供が出来るような形で運営していきたいと思えます。会員企業からこんなテーマをやってほしい、などのご意見がありましたら是非ご提供頂ければと思えます。また、是非一度部会に足を運んで頂き、いろいろな意見を頂戴出来ればと思っています。ご協力よろしくお願ひします。

(3) 2011 年度 青島日本人会生活文化会 活動報告

生活文化会会長 青木邦夫
副会長、江口規和、北野重時、笹原勉、下地富雄

生活文化会は、青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会の各部会、青島日本人学校等と連携して各種の親睦活動や生活文化関連の様々な取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「5つの同好会（2012年4月1日現在）」が帰属し、其々が青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書室「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けております。

また、日本人会の皆様の安全を確保し、快適な青島での生活を送って頂くため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めてまいりました。

主な行事活動

2011 年度におきましても、昨年度同様、生活文化会主催で様々な行事を企画し、会員の皆様のご協力ご支援を得ながら各行事を進めてまいりました。

2011 年度に生活文化会が取り組みました主な活動につきご以下報告申し上げます。

1) 2011 年 6 月 25 日 (土) 「青島日本人会チャリティ運動会」

青島日本人学校の体育館にて開催。約 200 名の方が参加し、赤、青、白組によるチーム対抗戦で、ビーチバレーボール、綱引き、玉入れ競争、飛行機/スリッパ飛ばし、障害物競走、リレー等各種競技に熱戦を繰り広げました。競技終了後のチャリティーオークションでは、皆様が落札された落札金総額を東日本大震災の義捐金として、青島日本国総領事館にお渡し致しました。

2) 2011 年 7 月 22 日 (金) 「青島夏祭り」

青島日本人学校の体育館にて保護者会主催により「夏祭り」が行われました。初めての試みでしたが、保護者会の皆様のご尽力により出店等手作りの夏祭り会場が出来上がり、日本人学校の楽しい思い出の一つとなりました。日本人会よりは、会場の設営、一部物品の提供等でご協力させて頂きました。

3) 2011 年 8 月 20 日 (土) 「第 1 回青島日本人バトミントン大会」

青島日本人学校の体育館をお借りし、第 1 回バトミントン大会を開催致しました。当日は北京バトミントン同好会の皆様も 6 名が参加され、青島からは日本人学校の先生方を中心に 11 名が参加、北京 VS 青島ダブルス形式の試合を行い各試合とも熱のこもった試合が行われました。各チーム 6 試合を行い、思いっきり良い汗をかいて頂いたと同時に北京日本人会の方々との交流の場ともなりました。

4) 2011 年 12 月 3 日 (土) 「フリーマーケット&スポーツ大会」

青島日本人学校の体育館をお借りし、フリーマーケット&スポーツ大会を開催。当日は約 60 名の方が参加され、家庭内の不用品、野菜、食品（調味料、お菓子）、寝具等会員企業からの商品を出展、掘り出し物も多数ありました。販売価格は出展者が自由に価格設定し、売上金の一部を青島日本人学校に寄付させて頂きました。またフリーマーケットの合間にビーチバレーボール、バトミントン大会を開催日頃の運動不足解消と会員相互の交流を図りました。

5) 2012年2月4日(土)「新年会」

青島日本人会最大のイベントである新年会をシャングリラホテルにて開催致しました。大人・子供合わせて440名を超える会員の方々に参加頂き、盛大な会となりました。

ホテル手配の料理に加え、うどん、おでん、天ぷら、巻き寿司、和菓子等も準備し、特に天ぷら揚げたてコーナーは大人気で長蛇の列となりました。

「変面」、「太極拳演舞」、「日本人学校先生&生徒による合唱」、「各同好会の紹介」と盛り沢山のプログラムが続き、毎年恒例の豪華景品が当たる「プレミア抽選会」では、番号発表のたびに場内で歓声と嬌声が渦巻き、最後に大谷名誉会長の中締めでお開きとなりました。

6) 2012年3月11日(日) 青島ジャパندي開催

東日本大震災1周年を迎えた3月11日、震災の発生に際し多くの青島の市民の皆さんからのお見舞い多大なる支援に対し、感謝の気持ちを表すとともに、震災に負けない元気な日本の姿を青島の皆さんに見て頂く機会を提供する場として、3月11日13:30-17:00 シャングリラホテル本館ボールルームにて青島ジャパنديを開催。当日は震災からの復興の様子(パネル、DVD展示)に加え、「観光」、「食」文化の紹介、「剣道」、「茶道」等のデモンストレーション、「折り紙ワークショップ」、「日本服装」(着物、浴衣)試着・記念撮影等を企画、実施。青島市内の日本語学科の大学生、中国企業関係者、観光関係業者、政府関係者、日系企業関係者多数が来場、一時は会場が立錫の余地のないほど人で溢れるほどの賑わいでした。青島ジャパنديを通じ、震災被害者を追悼するとともに、青島市民の協力、支援に対する謝意、風評被害の解消、訪日観光の促進、日本食の魅力発信等の目的は十分果たせたと思います。

チャリティ運動会、新年会、青島ジャパندي等の開催にあたっては、様々なご支援・ご協力を頂いた関係各位、経済環境厳しいおたくさんの景品をご提供頂いた会員企業の皆様、早くから会場準備を頂いた皆様、会運営にご協力頂いた婦人会、同好会をはじめとするボランティアの皆様のお蔭で、会員相互の交流・親睦を深める非常に有意義な行事とすることが出来ました。改めて御礼申し上げます。

今後とも会員皆様のご支援でより有意義な活動を行っていただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。 以上

*ちんたお文庫活動報告

前期役員 石井、芳賀、田中
後期役員 芳賀、田中、有原

文庫蔵書総数	約7800冊	
新規会員年間総数	34人	
年間利用者延べ数	1214人	(別途資料参照)
寄贈本年間冊数	1495冊	

その他、帰国者より踏み台・傘立て・脚立・手袋マスク(清掃時使用)など寄贈有

役員活動内容

- ・ アルバイトへの仕事内容指示、チェック(週に一度)
- ・ アルバイト休みの際の開館
- ・ 文庫休館のお知らせ作成
- ・ 文庫大掃除
- ・ 蔵書整理(古い本の処分など)
- ・ 延滞者、帰国者などの管理

今年度活動報告

役員会 8回（内日本人会にて3回）

大掃除、蔵書整理 2回

- ・ メールアドレスの新設 (qingdaobunko@yahoo.co.jp)
- ・ 中国本という分類の廃止
- ・ 夏季休館中カビ大発生による大掃除
- ・ 重複本、古い本の廃棄
→文庫内、10月銀都開催の子供祭にて「ご自由にお持ち下さいコーナー」
- ・ アンケートボックスの設置
- ・ 新着本コーナー新設
- ・ 蔵書の配置換えと表記
- ・ 書架の地図、開館・閉館看板作成
- ・ アルバイト休みの日の対応
- ・ 天井水漏れの為の対応
- ・ ボランティア募集案内作成
- ・ 文庫内掲示板、季節の飾り、壁紙づくりなどより利用しやすい雰囲気作り

総括

銀都花園内へ引越し、アルバイトによる毎週水～日曜日13～17時の開館と時間も長くなったためか年間利用者数も昨年度の倍以上になりました。寄贈本も昨年より大幅に増えております。ただ、新規会員数は昨年の半数弱です。（別途資料参照）

文庫は手狭ではありますが、役員を中心にボランティアメンバーによる定期的な蔵書整理などをおこない、より利用しやすくなるよう努力しております。

日本語の本である為アルバイトだけでは判断できないこともある、アルバイトは利用者ではない為気づかないこともある、ことなどから役員が週に1度文庫のチェックを行い、アルバイトへの指導、仕事内容の指示などを行ってきました。

1年間指導を行ってきましたが、完全に任せることは難しく、引き続き役員によるフォローが必要になると感じます。

ボランティアメンバーも引き続き募集はしておりますが、実際にはこの1年でほとんど増えていないどころか、相次ぐ帰国で減る一方で、現在12名ほどです。

役員は任期1年という規約ですが、このままでは役員を引き継いでいくのが難しい現状です。

新規会員数も減っていることから、更なるちんたお文庫の周知とボランティアメンバーの募集を日本人会会員の皆様にもお願いしたいと思います。

利用状況参考資料

年間利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館者	27人	79人	48人	41人	203人	183人	112人	119人	119人	76人	98人	109人	1214人
新規会員	8人	8人	2人	3人	0人	2人	3人	2人	1人	2人	1人	2人	34人
新規登録本	132冊	36冊	38冊	261冊	130冊	120冊	185冊	147冊	127冊	13冊	88冊	218冊	1495冊

* 各同好会および婦人会活動報告

* 婦人会活動報告

会員数：45名（2012年3月現在）

婦人会活動は、例年4月に行われる総会、年2回の定例会、12月に行われるクリスマス会が活動の中心です。

定例会では趣向を凝らしたイベントを開催し、昼食をとりながら新会員など紹介し、会員相互の親睦を深め、青島での暮らしに係わる情報交換などを行っています。

新しく青島にいられた方が1日でも早く青島の生活に慣れるように様々なアドバイスやお手伝いをしています。

2011年度の活動報告

総会・定例会の開催に加え、9月は親睦会（バーベキュー・スイカ割り）を開催いたしました。2010年度同様、婦人会専用Yahooメールアドレスを引き継ぎ使用し、日本人会から配信される各種イベントや生活情報、同好会や女性を対象としたイベントの案内を配信しております。また、婦人会活動を広く多くの方にご覧いただくことを目的に、チンタオweb様のご協力により、無料にてチンタオweb上に掲載中です。

さらに本年度は婦人会会員専用のブログ開設、そして様々な店舗様のご協力により、割引や特典が付く婦人会カードを発行いたしました。

活動内容

5月	総会	会場「ヴェルデ」	参加者：33名
6月	定例会&インドネシア料理講座	会場「見聞録」	参加者：23名
9月	バーベキューランチ親睦会	会場「景福宮」	参加者：18名
10月	定例会&秋の労山・紅葉狩りツアー	「北九水」	参加者：21名
12月	クリスマス会	会場 シャングリ・ラホテル「ダ・ヴィンチ」	参加者：30名
2012年1月	青島日本人会新年会の受付（現役員4名・前役員4名参加）		
2012年3月	ジャパン・デイのボランティア20名（現役員5名・婦人会会員の方々等）		

来年度の抱負・計画（案）

青島日本人会生活文化会内の組織として、青島に在住される日本人女性の親睦・交流の場となるようなイベントや懇親の機会を企画し、より開かれた形で、多くの方が気軽に参加できる形を整えていきたいと思っております。

また、メールによる生活情報発信、日本や青島外からの問い合わせには個別に対応することで、新たに青島へ来られる方の海外生活への不安を少しでも取り除き、新生活がスムーズにスタートできるようにバックアップしていきます。

さらに会員の皆さんが楽しく有意義な家庭生活が送れるように婦人会の輪が大きく繋がり合うことに微力ながら努力していきたいと思っております

年間主要行事（予定）

総会	4月
定例会	6・10月
クリスマス会	12月

以上

* 同好会活動報告

ゴルフ同好会

会長：江口規和（連絡先 13953253307）

2011年	開催日	開催地	参加人数
第91回	5月14日	海洋旭宝	47
第92回	6月11日	金山国際	41
第93回	7月9日	東方青島	58
第94回	9月3日	青島国際	45
第95回	11月13日	青島華山	50
		のべ参加者数	241

2011年度も例年通り5回のコンペを別々のコースで開催し、毎回50名前後の参加者が熱戦を繰り広げました。

11月の第95回大会は「Jusco杯」として冠大会を開催させていただくことが出来ました。青島イオン様をはじめ数多くの企業様、団体様から賞品を提供いただきました。ご協賛くださった企業様団体様各位に改めて感謝を表しますと同時に、今後も広く会員の皆様方よりのご協力・ご協賛をお願い申し上げます。

2012年度も4月21日の開幕戦を皮切りに5回のコンペを予定しております。

特に本年最後となる第5回目は記念すべき第100回大会として、栄えある青島日本人会ゴルフ同好会の歴史を刻むこととなり、いつも以上に盛大に執り行いたいと思っています。

日本人プロゴルファー、中でも遼君、藍ちゃんの海外での活躍は目覚ましく、日本の誇りではありますが、我が青島日本人会ゴルフ同好会の面々も虎視眈々と腕を磨いており、明日は自分も遼君、藍ちゃんになれる、と同じく海外での活躍を夢を見ております。

今後も、より多くの皆さんにご参加いただき、個人成績・平均スコアのレベルアップを図りながら、楽しめるような内容の濃いコンペを企画して参りますので、引き続き宜しく願い申し上げます。

テニス同好会

会長：森 豪利（連絡先 139 - 6977 - 7994）

会計：稲垣 聡（連絡先 150 - 6625 - 3311）

(1) 例年通り、大型連休中以外は、毎週日曜日 AM9:30～PM12:30、銀都花園のテニスコートで練習を実施しました。現在、登録会員数は30名、常時20名前後のメンバーで、2～3面のコートを使用して、練習に励んでおります。テニスコート代値上げに伴い、年会費は1000元にさせていただきました。2012年度の年会費は1100元を予定しております。収支報告としましては収入31042元、支出30901元、残金は、2012年度に繰越させて頂くことにしました。

(2) 初中級、上級者の垣根を少しずつ取り外すしていくという、2011年度に掲げたスローガンの通り、同好会全体の雰囲気も非常に良くなり、お互いが教えあい、切磋琢磨する好循環の練習環境が整いつつあるようです。

(3) 2012年度の抱負としましては、第一に同好会全体のレベルを上げること。第二に9月に実施予定の青網杯（一年で最も大きな大会）で上位に食い込むことです。そのためには、工夫された練習方法を取り入れ、対外試合の経験を多く積まなければなりません。

そこで、4月は海辺人杯（新興テニスコート）、5月は恒例の日韓戦（天泰テニスコート）、6月に天津チーム（銀都テニスコート）との対抗戦と例年になく、対外試合を多く予定しています。

(4) また、2010年以降は、テニス技術の向上と同時に、日本人駐在員の週末の「癒しの場」を目指した同好会の運営を目指していることも最後に書き加えさせて頂きたいとおもいます。

以上

ソフトボール同好会

【会概要】

「本会は、ソフトボール及び野球を愛する会員の、相互親睦と技術向上を主たる目的とする」2011年12月末現在、一般会員62名（男性57名／女性5名）から成り、小林（会長）が会員より選任した、18名の委員で運営委員会を構成する。（運営部、企画部、広報・渉外部、会計部、事務局の計5部門）活動場所：科技大学グラウンド、活動日時：毎週日曜AM8:15～12:00。年会費：500元／成人男性の場合。（注）2012年度は、800元（男性）に年会費を改定。

【年間活動】

1月、ドラフト会議で、今期を通じて戦う3チームを決定し、2月27日を開幕戦、12月17日を最終戦とした、10ヶ月間に及ぶ“青島ソフトボールリーグ戦2011”を開催。毎週日曜日に3チームによる総当たり戦を実施、2011年は各チームそれぞれ64試合を消化し、12月24日の優勝決定戦を経て、年間優勝チームを決定。チーム表彰と各個人表彰を実施。

【特別活動】

上海で開催の華東地区ソフトボール大会へ3チーム編成で出場し優勝。企業様より賞品協賛をいただき特別試合を開催。ボーリング大会、ゴルフコンペ、バーベキュー大会などを開催。

「2011年 月別活動実績」

主行事 賞品協賛

- 1月 ドラフト会議／同好会新年会／ボーリング大会／ゴルフコンペ 辰安様、朝日緑源様
- 2月 リーグ戦開幕／ゴルフコンペ
- 3月 ゴルフコンペ
- 4月 同好会ポスターの作成と配布
- 5月 2連覇となる第4回華東地区ソフトボール大会優勝 三東服装様
- 6月 ゴルフコンペ JUSCO 様
- 7月 バーベキュー大会／ゴルフコンペ 朝日緑源様
- 8月 全体練習／血液型・年齢別の対抗戦
- 9月 ナクシス様
- 11月 3連覇となる第5回華東地区大会優勝／ゴルフコンペ セコム様
- 12月 リーグ戦終了／優勝決定戦／同好会総会／忘年会／ゴルフコンペ 全日空様

その他

保管倉庫が盗難被害に会い、バット・ボール等の用具を新規購入。

3年間使用したホームグラウンド（海洋大学）が閉鎖された為、活動場所を科技大学へ移転。日本人会主催の各種行事へ参加と協力。

2011年は、当初より会員の帰国・異動が相次ぎ、16名を送別会で見送った1年でした。

しかし一方で、それを上回る人数の新規入会者を、仲間として同好会へ迎えることができました。これは、会員の努力もさることながら、日本人会や各企業様が、同好会の紹介をしていただき、また、賞品ご協賛などの多大なるご支援のおかげと感謝いたします。ありがとうございました。2012年度も、会員の笑顔が絶えない、楽しく魅力的な、同好会活動を実施いたします。

ヨット同好会

代表：西垣健作

会員：大人8名、子ども15名

私たちは主に奥帆中心にあるマリーナで中国のヨットクラブと共同で活動を行っています。

- 4月 去年からの経験者活動開始。
- 5月 1日 体験会を行う。(子ども15名が参加)
- 6月～7月 子どもヨット教室活動開始。(タッカー、OP ビギナー、OP アドバンス)
各チーム3～4名に分かれ毎週末活動を行う。
- 8月 夏休み中は個人的にクラブに申し込み中国人の子どもと共にレッスンを受ける。
- 9月～10月 子どもヨット教室(秋の部)活動開始。
- 11月 クルーザー(J80)をレンタルし操船体験を行う。(大人5名、子ども4名参加)
大人は20時間のレッスンを受けた後、個人でヨットをレンタルし活動を行う。
- 12月～2月 活動なし。
- 3月 B&G兵庫ジュニア海洋クラブと交流。練習見学と体験を行う。(子ども4名参加)

正式同好会としては2年目となりました。経験者の転勤により競技チーム・メンバー集めに苦労しましたが、8月には青島国際ヨットレースのフライングタイガー級に参加することが出来ました。

トラブルに見舞われ、成績は芳しくなかったものの、各国からの招待選手とともに国際レースを楽しむことが出来ました。昨年が一番の成果は、オリンピックマリーナでの子供ヨット教室です。NOCSP(ナショナルオリンピック・コミュニティ・セーリング・プログラム)という中国のNPOと共同で開催したプログラムには、21名の小・中学生が参加しました。10月に開催されたレースでは銀メダル獲得者も出る健闘ぶりで、多くの子供たちが今年もヨットを楽しみたいと言ってくれています。

今年は、ヨット経験者の帰任が続いている事から、単独での同好会運営は難しいものと考えており、当面は従来から協力関係にあるNOCSPと共同で、経験を積んで上達してきた子供達、そして初心者の方々に向けた活動を進めていく事としています。会員の皆さんの参加をお待ちしております。

青島写真同好会

会長：北野重時(連絡先 13905424215)

副会長：安川誠(連絡先 18663835022)

2011年度	月例開催日	開催地	月例会テーマ
4月度	4月17日	キャノン青島事務所	①花、②青島建物、③動き
5月度	5月15日	キャノン青島事務所	①山、②海、③スナップ
6月度	6月19日	キャノン青島事務所	①小動物、②八大関、③夜景
7月度	7月16日	日本料理店「月山」	①海波霧、②夏スポーツ③静物
8月度	8月21日	キャノン青島事務所	①水、②雲、③逆光
9月度	9月18日	キャノン青島事務所	① くだもの、②勇気元気、 ③自由
10月度	10月16日	キャノン青島事務所	①秋、②光と影、③自由
11月度	11月20日	キャノン青島事務所	①料理、②青島、③賑やか

12月度	12月18日	キャノン青島事務所	①初冬、②可愛、③自由
12/1月度	1月15日	キャノン青島事務所	①ぶるぶる、②真冬、③自由
2月度	2月19日	キャノン青島事務所	① ザチャイナ、②ぬくもり ③自由
3月度	3月17日	キャノン青島事務所	①器、②映りこみ、③自由

写真同好会では日頃の撮影成果を評価し合い、撮影技術の向上とモチベーションアップのため、毎月一回、上記の通り例会を行っております。例会では毎月撮影課題（テーマ）を決めた作品の鑑賞評価を行い、入賞作品は「月刊青島」へ投稿しております。

毎年行っている撮影会（旅行）では、4月21日にキャノン支援で労山へ、9月10～12日は世界遺産「平遥」へ、10月15日は鶴山／四季庄園へ行きました。

また、念願の写真集を作成し、東日本大震災の義援金（50元）付きとして販売したところ、73冊を青島日本人会の皆様に購入していただきました。集まった義援金3650元は、青島総領事館へ持参いたしました。

2012年度も毎月の定例会とともに色々な所へ撮影旅行に行く予定です。写真に興味のある方、ボケ防止をお考えの方は、是非写真同好会へご参加下さい。

以上

(4) 2009年度青島日本人学校支援委員会活動報告

青島日本人学校支援委員会
委員長 青木 邦夫

児童・生徒数

2012年4月 現在：小学部 74名、 中学部 24名、 合計 98名
参考 2004年4月:6名 2005年4月:22名 2006年4月:61名
2007年4月:77名 2008年4月:89名 2009年4月:98名
2010年4月:95名 2011年4月:113名

教職員

- ・校長： 沼倉 信夫
- ・教員： 文部科学省派遣教諭（校長含む）10名、現地採用常勤講師3名
- ・事務員： 2名

施設 青島市北区同興路76号

入学条件等

- ・入学資格：原則として、青島市及びその周辺に在住する日本国籍を有する子女
- ・入学金： 10,000元、授業料 月額3,000元（スクールバス費用は、別途必要。）

ホームページ <http://www.qingdaojs.org/>

- ・2011年は第4代目の校長を迎えた。
- ・念願の100名を越え保護者会も活発な活動をした。
- ・日本人会として例年通り10万円の寄付金のほか人的・物的な支援を行った。
- ・

第2号議案

第2号議案

2011年度会計報告
(2011年4月1日～2012年3月31日)

2012年3月31日
(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	294,602	1. 事務局費	192,872
2. 2011年度会費収入 法人390社、個人100名 (含む前受金)	551,000	2. 商工会活動費 全体会 部会	47,637 12,300 35,337
3. 臨時会費収入 ・総会懇親会会費 ・新年会懇親会会費	121,100 43,100 78,000	3. 生活文化関連費 婦人会 ちんたお文庫 運動会 月刊青島 歴史保存会	90,146 1,600 31,722 3,122 43,300 10,402
4. 銀行利子	6,641	4. 会議費 総会 新年会	137,458 54,078 83,380
5. その他(寄付など)	246	5. 日本人学校支援費	100,000
		6. ジャパンデー関連行事	27,400
		7. 情報整理(H. P改修等)	3,200
		8. 特別講演会の開催	0
		9. 安全対策セミナー	3,804
		10. 予備費	-
		11. 次年度繰越金	371,072
【合計】	973,589	【合計】	973,589

第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に則り、第21期(2011年4月1日～2012年3月31日)の会計検査を関係帳簿・証憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

竹田 昇

清水 康 継

第4号議案 日本人会規約の改正

第12条（会費）

本会の運営に必要な資金は会費によるものとし、正会員及び個人会員の会費の額は次のとおりとするが、総会の決議を経て改定できるものとする。

(1) 正会員の会費は年額1,200元とし、原則として4月末日までに納入する。 4字挿入
~~但し、4月、10月に各600元を分割納入することが出来る。~~ 28字削除

また、年度途中の入会者の会費は、入会月から年度末までの月数に100元を乗じたものとし、 1字削除
する。ただし、10月以降に入会する場合は本年分に合わせて翌年の 43字挿入
会費を納めるものとする。

正会員が年度途中で退会する場合、会費は返却しない。
なお、会費の督促をしても滞納が~~1年~~ 半年以上の会員は、退会したものとみなし、
会員名簿から抹消するものとする。 2字削除 2字挿入

以上

第5号議案

2012年度 青島日本人会 理事及び監事（案）

	名前	企業名	
理事	青木 邦夫	丸紅(青島) 有限公司	総経理
理事	石田 正男	新日清制粉食品(青島) 有限公司	総経理
理事	江口 規和	阪和商貿(青島) 有限公司	総経理
理事	折口 史明	青島永旺東泰商業有限公司	総経理
理事	蔭島 末彦	青島日東食品有限公司	総経理
理事	加藤 仁志	三井物産(青島) 有限公司	総経理
理事	兼重 清史	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	上村 等	全日本空輸株式会社青島支店	支店長
理事	北野 重時	青島西科姆電子安全有限公司	総経理
理事	下地 富雄	在青島日本国総領事館	首席領事
理事	鈴木 純一	丸紅繊維(上海) 有限公司 青島分公司	所長
理事	高橋 伸彦	三菱東京UFJ銀行(中国) 有限公司 青島支店	支店長
理事	田島 讓	東麗即発(青島) 染織股份有限公司	総経理
理事	田中 博之	青島松下電子部品(保稅区) 有限公司	総経理
理事	手代木 和人	三菱商事(青島) 有限公司	総経理
理事	蓮見 昌治	青島川電鋼板加工有限公司	総経理
理事	藤武 秀三	みずほコーポレート銀行(中国) 青島支店	支店長
理事	北条 尚子	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長
理事	前島 啓二	山東朝日緑源農業高新技術有限公司	総経理
理事	山田 眞久	青島萩原工業有限公司	総経理
理事	渡部 英司	伊藤忠(青島) 有限公司	総経理
監事	清水 康継	獅王日用化工(青島) 有限公司	総経理
監事	竹田 昇	青島扶桑精製加工有限公司	総経理

第6号議案

2012年度事業活動計画

1. 全体活動

日本人会会長 兼重清史

今年度は、日中国交正常化40周年の記念すべき年です。この青島日本人会の組織を挙げ、当地にお住まいの日本の方達との連携を深めるだけでなく、より一層中国の方との交流を図ることができればと思います。この青島で商品だけではなく生活スタイルを含めた日本ブランドを紹介しながら、日本の良さを中国の皆様へ理解していただき、ここに住む私達日本人も中国での生活を満喫できますように、草の根の国際交流を展開していきたいと考えています。

全体活動

青島市政府関係機関等との交流を強化し、円滑な企業活動環境の整備および青島在住日本人の生活環境向上に向けた提言を行います。

- 青島総領事館やJETROと連携し、日中国交正常化40周年を記念したジャパンディの開催。
- 安全情報等各種情報の収集、発信。他国・他駐在員組織との交流および情報交換。
- 青島進出日系企業に対する、有益なビジネス上の情報や交流の場を提供。
- 青島日本人学校運営に関わる支援。
- 青島日本人会ホームページの充実。

今年度も何卒よろしくお願いたします。

2. 商工会

2012年度活動の抱負

1) 企業を取り巻く環境の変化

昨年2011年の総会の席で、これから起こり得る3つの変化につき申し上げました。

1つ目は、東日本大震災が契機となり、中国で現地調達が一層進むこと。

2つ目は、中国が、内需拡大と物価安定の両方の実現のため、財政支出と金融引締というアクセルとブレーキを両方踏み分ける舵取りの難しい年になるということ。

3つ目に、中国トップ人事の策定が進み、中国全体を突き動かしていくというものでした。先の3つの変化は今年も続くと思われま。欧州金融信用危機、資源価格の下落などの火の手はこれからも上がってくるでしょう。

2012年は、経済でも政治でも気が抜けない年となります。

しかし、「有困難、有办法」。困難には解決方法があります。また、「乱中有美」。

変化の中にビジネスチャンスがあります。厳しいときだからこそ、優良案件を獲得できるチャンスがあります。今年は12次5ヵ年計画の2年目です。

世の中の大きな変化を的確に捉え、機敏に対応することで、商売を開拓することができると思います。私達がこうして、この時代を生き、この青島で生活、ビジネスが出来る幸運に感謝し、新年度に向かって、新しい一歩を共に歩んで参りましょう。

2) 2012 年活動方針

上記環境下にあつて、企業活動に関わる有効な情報交換の機会提供、セミナー開催、市政府、他国商工組織との交流、事業環境研究会活動を通じた関係機関への提言を行います。

(1) 全体セミナーと交流について

今年も昨年に引き続き会員の皆様の応援をすべく、法務・財務・税務・労務等の各企業共通のテーマの中から、

- ① 新任総経理のための2つの基本講座～会計財務(6月)と法務人事(秋頃)、
- ② 移転価格(5月)、③ 青島を代表する地元企業の見学(即発集団など)を実施する予定です。

(2) 提言について

市政府・機関並びに他国商工組織との交流を進め、日本商会白書などを通じて、関係機関へ提言します。

去年は、電力・水の安定供給、原料価格の安定、輸出入手続の迅速化などを提言しました。今年はこの他に、企業経営に深刻な影響を与える施策については十分な対応時間が取れるよう、又、所管部署により解釈や対応が異なることのないよう、進出企業発展をよりサポートする提言をしてまいります。

3. 生活文化会

- ① 各種親睦活動・生活文化関連活動の主催及び支援。
- ② 青島日本人会運動会・新年会の企画実施。
- ③ 青島総領事館と連携し、青島ジャパンディの開催。
- ④ ちんたお文庫の活性化と運営に対する支援。
- ⑤ 各同好会・婦人会への活動支援、他地域日本人会同好会との交流活動に対する支援。
- ⑥ 青島生活情報の発信「月刊チンタオ」で会員の輪を作っていく。
- ⑦ 青島の文化・歴史についての調査、研究に対する支援。

4. 青島日本人学校支援委員会

昨年度は先ほどの報告にありましたように113名の児童・生徒がいましたが、本年は100名ギリギリの数字で始めることになりました。

支援委員会としましては、例年通りの学校への経済的支援を行ってまいります。

また、支援委員会の規則制定が遅れておりますのでこれを作成しより一層日本人会として学校の支援をしていくよう努めたいと思います

2012年度 予算案

(2012年4月1日～2013年3月31日)

12年4月1日

(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	371,072	1. 事務局費	233,000
2. 2012年度会費収入 法人社、個人名 (含む前受金)	558,000	2. 商工会活動費 全体会	76,000 21,000
		部会	55,000
3. 臨時会費収入	130,000	3. 生活文化関連費	110,000
・総会懇親会会費	45,000	婦人会	5,000
・新年会会費	85,000	ちんたお文庫	35,000
		運動会	5,000
4. 銀行利子	5,928	月刊青島	45,000
		歴史保存会	12,000
5. その他(寄付など)	0	予備費	8,000
		4. 会議費	150,000
		総会	50,000
		新年会	100,000
		5. 日本人学校支援費	100,000
		6. ジャパンデー関連行事	30,000
		7. 情報整理(H. P改修等)	10,000
		8. 特別講演会の開催	30,000
		9. 安全対策セミナー	10,000
		10. 予備費	50,000
		11. 次年度繰越金	266,000
【合計】	1,065,000	【合計】	1,065,000

【資料1】 全般的活動（出来事）

- ・ 4月12日 日本人学校入学式
- ・ 4月16日 日本人会総会
- ・ 6月25日 日本人学校 運動会
- ・ 7月22日 夏祭り
- ・ 9月3日 (なでしこジャパン 済南応援)
- ・ 10月8日 平木場総領事着任
- ・ 11月19日 日本人学校学習発表会
- ・ 12月2日 天皇誕生祝賀会
- ・ 12月22日 海上自衛艦観艦
- ・ 2月4日 新年会
- ・ 3月11日 ジャパンデー
- ・ 3月12日 日本人学校卒業式

【資料2】 会員数（年度末）

	法人会員（社）	個人会員（人）
2006年	325	92
2007年	354	104
2008年	355	83
2009年	356	120（名簿ベース）
2010年	395	62（実数ベース）
2011年	420	66